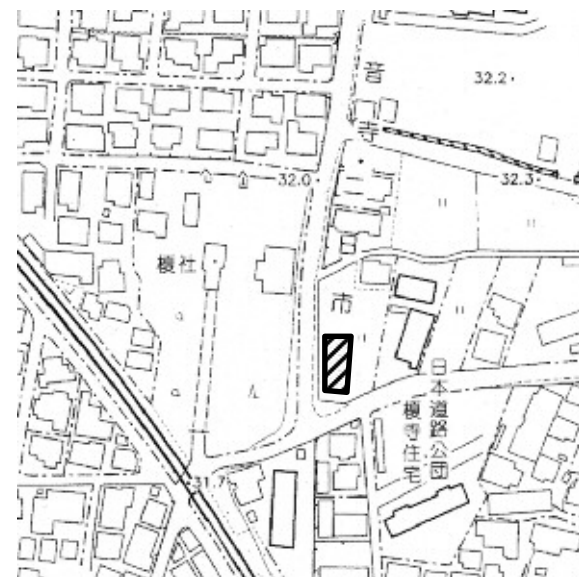


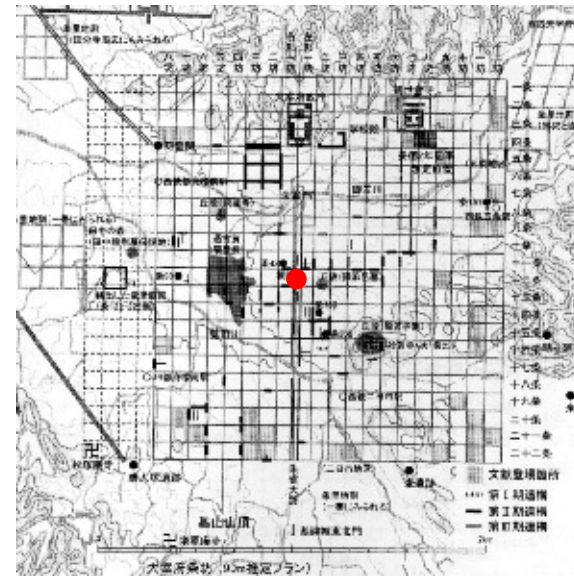
平成 26 年 8 月 24 日 (日) 太宰府市教育委員会

1. はじめに

太宰府市教育委員会では、太宰府市朱雀 4 丁目 2592 番 1 地内において県道観世音寺二日市線の拡幅に伴い平成 26 年 6 月 23 日より調査を実施してきました。遺跡名にある大宰府条坊とは大宰府の街を基盤の目のように区画した地割のことです。大宰府条坊の東側を左郭、西側を右郭といいます。



位置図



大宰府条坊プランと調査位置

2. 朱雀大路について

朱雀大路とは、大宰府条坊内の中央を南北にはしる条坊内最大の規模を持つ道路です。奈良時代の規模は幅約 36m、推定される長さは 1.3 km を超えるもので、東西に側溝が造られていました。しかし、平安時代には条坊区画の設計変更などによって道路幅は縮小され、平安時代には幅 30m へ、後に 15m へと次第に変化していったようです。この条坊区画の設計変更も都の状況に合わせたものであったようです。平城京 (幅約 75m) や平安京 (幅約 84m) に見られる朱雀大路は更に規模の大きなものですが、大宰府条坊に見られる朱雀大路は、全国を見ても都の次に大きな道路幅を持つものです。

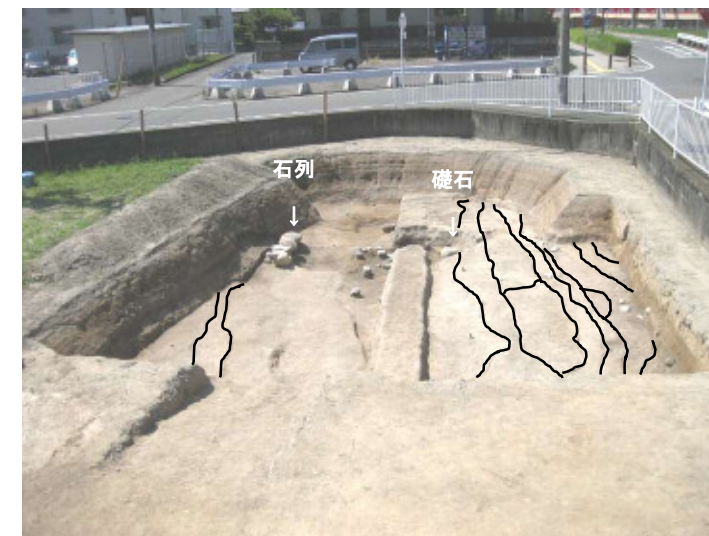
調査地西側には、「府の南館 (菅原道真の居館)」といわれ榎社が隣接しています。朱雀大路に面し、大宰府政庁から南へ約 700m に位置しています。

また、榎社より約 350m 南東側では発掘調査により大型の建物跡が確認され、古代の客館跡と推定されています。朱雀大路沿線が古代の大宰府において重要な場所であったことがわかります。

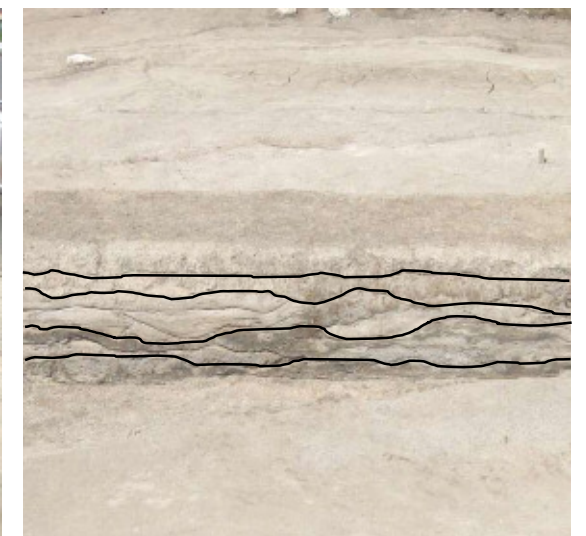
3. 今回の調査で発見されたこと

①朱雀大路のその後

今回の調査では、古代の朱雀大路は確認されませんでした。調査地の中には目の細かい砂や粗い砂、大小の礫、粘土などが堆積し、河川の氾濫によって土砂が運ばれてきたと考えられる堆積のしかたをしています。しかし、河川が氾濫し水が流れたとしても、水が引けば道路として使っていたことも考えられます。また、道路の路盤でも同様の堆積が確認されることがあり、完全に道路の機能が失われ、川になっていたとも言い切れません。条坊区画が管理されなくなっていった 12 世紀以降の状況は、これまでの調査成果、今後の調査成果をあわせ、更なる検討が必要なようです。



土の堆積状況 (黒線が堆積した土の境) 北から撮影



南北方向の堆積状況 (土層) 東から撮影
黒線は大まかな堆積の単位を示す

②石列：14 世紀以降

調査地内中央部の東側で 4 個の石が並んで確認されました。きれいに一列に同じ大きさの石が面を揃えて並ぶことから、人工的に並べられたことがわかります。しかし、この 4 個の石の他に並べられた石は確認されず、また周りの土は水に流され堆積した土であったことから、この石列が何のために造られたものなのか明らかとはなりません。



石列全景 (西から)

③礎石

調査区の中央で、長さ 94cm、最大幅 53cm で中央よりややずれた位置には直径約 20 cm、深さ 8 cm の円形の掘り込みがある礎石が出土しました。この礎石は、14 世紀代の遺物が含まれる砂の層から出土していますが、出土状況からここに設置されていたものではありません。また明確な時期は不明です。このような掘り込みを持つ礎石は古代からあり、菅原道真が住んだ「府の南館」いわゆる榎社に隣接することからも興味深いものです。



礎石全景（西から）

④出土遺物

出土した遺物は、土師器や須恵器などの土器、中国で焼かれた白磁碗や青磁碗、瓦、銅銭（皇宗通寶）、石臼など多くの遺物が出土しました。これらは、流されて堆積している遺物で、主な時期は 11 世紀～14 世紀代です。

4. おわりに

今回の調査では、朱雀大路が管理されなくなった後に、川のように度々水が流れていた状況が確認され、多くの土器や白磁・青磁などが出土しました。石列や礎石など不明な部分も多いですが、これらの解明は今後の調査に期待したいと思います。

最後になりましたが、調査にご理解とご協力賜りました、地域の皆様にお礼申し上げます。

《お知らせ》

8 月 9 日より太宰府市文化ふれあい館におきまして、「まるごと太宰府歴史展 2014」を開催しています。太宰府を代表する大宰府政庁や水城跡をはじめ、太宰府の歴史をまるごと紹介していますので、是非ご覧いただき、各時代に花咲いた太宰府の歴史・文化を体感してください。

また、本年は水城築造 1350 年の年です。8 月 30 日（土）午前中には「特別史跡水城跡 100 年ぶりの土塁断面大公開」として現場説明会が開催されます。ふるってご参加ください（JR 水城駅そば）。



水城跡土塁断面公開会場位置図



調査区全景（上が南）



調査地上空より大宰府政庁を望む（上が北）